



路上生活者に弁当配布

夜廻りの会廿日市

毎週土曜日になると、廿日市市在住の米田和子さん一家の忙しい一日が始まります。広島・廿日市市内の路上生活者に弁当や衣類、日用品、医薬品を配るため、朝から準備に取り掛かります。午後8時すぎ、夫の二輝さんが運転するワゴン車に荷物を満載し、広島市内に向けて出発します。

米田さんは、路上生活者が寝泊りできないように駅の構内に水がまかれた、という新聞記事を見て心を痛めたことがきっかけで支援活動を始め、路上生活者支援サークルに資金などを提供してきました。ところが、支援サークルの活動が冬期限定だったため、

「年中見守らなければ」との思いから平成8年(1996年)、自ら立ち上がりました。活動開始当初の路上生活者は30数人。その数は景気の動向と連動し、ピークは3年前の300人。現在はその半分くらいだそうです。

公共工事が始まる9月～3月は減少傾向にあり、広島市民球場でカープの試合があれば清掃の仕事があり、弁当支給を待つ人が少なくなります。夏は河川敷や公園、冬や雨の日は屋根がある場所へと、季節・天候によってどこに何人ぐらいるか、米田さんには見当が付くそうです。

取材当日、用意したのは120人分のばら寿司とパン、温かいみそ汁、菓子。特に、弁当は手作りにこだわって、自家栽培の野菜を使うなど、なるべく品目を増やし、栄養のバランスに配慮します。さらに4月は花見弁当、6月は父の日弁当、12月はクリスマス弁当といった風に、季節感の演出も忘れません。弁当を配る際、同時に一人ひとりの健康状態もチェックします。

ワゴン車から弁当を積みおろす米田さんとボランティアの人たち



ワゴン車に満載の支援物資。手前のダンボールにはばら寿司が入っている

支援品の多くは、米田さんの活動に賛同する人々の寄付で賄われています。これまで協力してきた人は1000人近くに。「さまざまな品を有効利用させてもらっています。ありがたいことです」と二輝さんの笑顔が返ってきました。



土曜日は、朝から弁当の準備に忙しい米田さん

学校給食にひと工夫

子どもたちに郷土料理集 仁保小学校

広島市立仁保小学校では昨年度、子どもたちに伝統の味を伝えようと、管理栄養士が中心になって、「子どもたちに伝えたい 仁保の味料理集」を作成し、全児童に配りました。

冊子には、かつてノリの養殖が盛んだった仁保ならではの「仁保むすび」をはじめ、野菜の煮物「八寸」(はっすん)や、アサリを使った「よせあげ」など計20品目を掲載しました。

今年2月5



郷土食(八寸とあらめの煮付け)を取り入れた給食

日の創立記念日には、八寸やあらめ(昆布の仲間)の煮付けといった郷土料理を取り入れた給食を用意しました。子どもたちも興味津々で、この日はかなりは食べ残しがほとんどな

青空の下、みんなで給食弁当 古市小学校

広島市立古市小学校では、平成11年(1999年)度から年一回、「青空交流給食」を実施しています。これは、その日の給食を持参した弁当箱に詰め替え、学年の壁を超えた縦割り班ごとに、青空の下、食事を通して交流を深める取り組みです。

平成13年(2001年)からは、食事

かったそうです。さらに、創立記念日を前にした全国学校給食週間期間中に、給食展「すすめ 給食に学び隊」を開催。ランチルームに昭和30年代の食卓風景を再現しました。

溝部ちづ子校長は「食が一番の基本。基本ができれば、勉強もしつかりできます。学校全体の取り組みとして、食べることに非常に意識が向きました」とこれまでを振り返ります。結果、平成15年(2003年)度には、学校給食の実施において優れた成果を挙げた学校として、文部科学大臣表彰を受賞しました。

校内で農業体験 矢野南小学校

「自然と共にある学校」をテーマに建てられた広島市立矢野南小学校には校内に畑や田んぼがあります。地域の農業経験者の力を借りて校内菜園に取り組んでいます。



小学校の屋上にある田んぼで代かきをする5年生

開校以来7年間、5年生がもち米作りをしています。校舎の屋上にある田んぼで苗作りから稲刈りまでのすべてを行います。収穫祭では、もちつきをしてつくたてをみんなで食べます。また、お米についての歴史や料理方法、世界のお米についてなどの研究発表をクラスを越えたグループで行います。

各教室の向かい側にある畑では2年生がキャベツやキュウリ、サニーレタスなどを栽培し、校外にあるサブグラウンドにはサツマイモを植えています。収穫時にはクラスでサラダパーティーをしたり、給食に加えて全校児童におすそ分けをしています。

校内菜園をすることで、家族とカラス対策について話し合ったり、採れたての野菜のおいしさを知ることができたり……食について考える機会がいろいろ詰まった取り組みです。



昨年の青空交流給食の様子



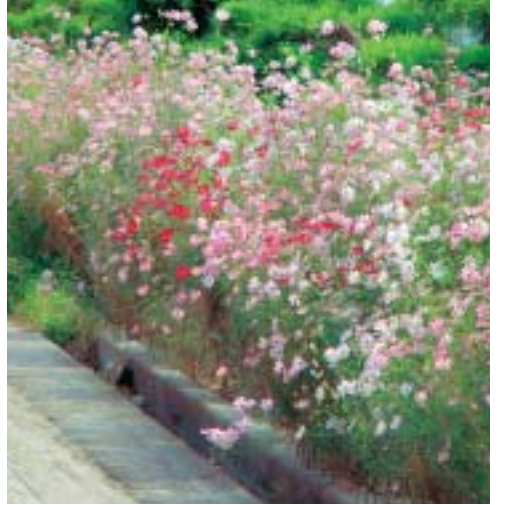
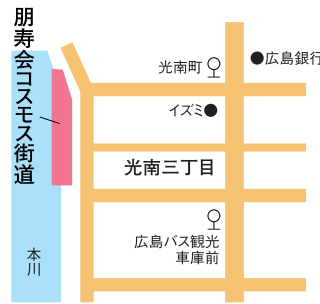
山頂からの眺望は絶品



資料提供: 祇園公民館

ひろしま ぐると八区

広島には魅力あふれる地域や元気いっぱいの人たちが数多く存在します。
このコーナーでは、そんな“広島のステキ”を皆さんにお届けしていきます！



地元企業との共同作業が花開きました

埋もれた宝の山・武田山
鎌倉時代からの長い歴史を持つ武田山には、今でも銀山城趾などの多くの史跡が残っています。山頂からは広島市街が一望でき、胸を打たれるほどの素晴らしさです。しかし、人の手を離れた武田山は荒廃の途をたどっており、県の重要文化財に登録されたこともあって、伐採などの手入も難しくなっています。
プロジェクト武田山“の吉田篤三さんは、「私たちが子どもの頃は、薪や山菜を採るなどして里山を生活に利用し、それが山を整備することにつながっていました。手入れをし、愛さなければダメになってしまうのは山も人間も同じ。武田山は、もっと人が訪れやすいよう整える必要があります」と言い

プロジェクト武田山 登ろう！ 武田山

かつて安芸の国最大規模を誇る難攻不落の山城を持ち、人々の生活を見守ってきた武田山。歳月を経て、里山としての新しい姿を見せようとしています。

安佐 南区



里山保全に詳しい「ひろしま人と樹の会」が指導。高校生・大学生も参加

ます。人との共生で培われてきた里山の生物群には、ある程度伐採という手入れが必要なのです。セミナーや体験学習を通して、もっと多くの人に里山整備の重要さと、武田山の歴史を伝えていきたいとのこと。

新しい時代の里山へ

「プロジェクト武田山」は、森林関連のボランティアや広島城北ライオンズクラブ、広島経済大学などさまざまな団体で構成。幅広い分野で活動を行っています。まずは昨年10月に、武田山にはびこる竹を刈り取り、広島経済大学から登る遊歩道をつくりました。「体験ボランティア」として参加した学生も多く、慣れないカマなどを片手に健闘したそうです。また今年4月には、満開の桜の下で「さくらコンサート」を開催。祇園中学校・祇園北高校・祇園ウインドアンサンブルなど、年齢層の異なる吹奏楽団が共演しました。



環境セミナーには、地元の祇園北高校生なども参加

TOPICS

10月31日の祇園商工フェスティバルでは、さまざまなイベントを予定しています。「プロジェクト武田山」ロゴマーク入りのプレートを作成するコーナーも設けます。
問合せ
☎082-875-3476
「プロジェクト武田山事務局」



なつたそうです。「環境セミナー」と題し、環境問題について専門家の講義を受ける機会も設けています。
「さまざまな人のネットワークを広げ、後世に武田山の素晴らしさを伝えていきたい」とは、「プロジェクト武田山」が掲げる方針のひとつ。荒れてしまった武田山を完全に立て直すには、100年近い時間がかかるといいます。『人のネットワーク』とは、時を超えた異世代のつながりを示しているのです。10月には祇園商工フェスティバルへの参加（山本2丁目「山本第6公園」にて開催）、銀山城趾「馬返し」景観等整備作業と、着実に活動を重ねていく予定とのこと。武田山には人をつなぐ力がある。この信念が、「プロジェクト武田山」の原動力となっているようです。



地元から年齢層の異なる吹奏楽団が出演したさくらコンサート

人と人とのつながりを咲かそう

コスモス 街道づくり

10月も中旬になると、目にしみるようなピンクの花々が400メートルあまりの堤防を彩り、人々の目を楽しませてくれます。川沿いを花の道として変身させているのは、光南地区老人クラブの「朋寿会」の皆さんです。

中区

川沿いに花開く

広島市のデルタ地帯には6本の川が流れ、その川沿いには、護岸を目的とした堤防が連なり河岸緑地となっています。市民の手ごろな散歩道として愛されていますが、光南地区では、2〜3年前から堤防付近へのポイ捨てが問題になっていました。

このことに心を痛めた光南地区老人クラブ「朋寿会」のメンバーが、「本川沿いの松並木の下を整備し、花々であふれる憩いの場にしたい」との思いから、コスモスの栽培を開始。平成14年（2002年）から月2回、メンバー全員で清掃や花の管理を行い、2年の歳月をかけて美しい川辺を作り上げました。今年は、去年の3倍にあたる1万本が咲きそう予定です。これまで



5月初旬に苗を植え付けます

民間企業に支えられた市民活動

コスモスを栽培していく中で、水の供給が一番の課題でした。行政に「水道を取り付けてほしい」とお願いしましたが、管理が難しいため、無理とのこと。考え抜いて思いついたのは、堤防周辺にある企業にも協力してもらおうというアイデア。広島市からの働き掛けもあって、日本郵便通送（株）広島支店や（株）ソルコム、コカ・コーラウエストジャパン（株）など7企業が計画に賛同し、街道づくりのメンバーが作業する際には快く水を提供してくれることになりました。咲き上がったコスモス畑のいくつかに協力企業の名を記した表示板を掛け、感謝の意を示しています。

「活動を始めたばかりのころは、バケツに水を汲んで運ん



協賛企業の表示板が並びます



1時間ほど作業した後は、お茶を飲みながらくつろぎタイム

TOPICS

＜朋寿会＞
「光南3・6丁目」と「南吉島町」の合同老人クラブ。コスモス街道づくりのほかに、カラオケサークルや絵手紙同好会など、幅広い活動を行っています。
問い合わせ
☎082-241-4054（合田さん）

でいました。それを見かねて、周辺企業によく訪れていた方からホースの提供があつたんです。このように、民間企業から通りがかりの人まで、幅広い市民の皆さんの協力があつて私たちの活動は成り立っています。行政に要求ばかりするのではなく、市民が団結して町を良くしていくことが大切だと痛感しました」と、代表者である合田忠孝さん。柔軟な発想から活動の幅を広げてきた朋寿会の「コスモス街道づくり」には、市民活動を行う上での知恵がたくさん詰まっています。



今年の3月に開所した中工場。ここでエコまつりが開催されます

地域の黒子を務める 吉島公民館（中区）

吉島の町は、昭和10年代まであったアシ原を干拓してできた比較的新しい町です。歴史のなか
つたこの土地に町が作られ、地域のコミュニティーの拠点として、住民の要望により公民館がで
きました。地域の活発な活動を裏方から支え、新しいコミュニティーづくりに30年間取り組ん
できた吉島公民館を紹介します。

エコまつり 環ッハッハ in よしじま！

今年の3月22日、吉島に中工場（こ
み焼却場）が開所し、広島市では4月
からゴミ8種類分別収集が始まりま
した。このことをきっかけに、環境やゴ
ミについて考えてもらおうと吉島公民
館に事務局を設け、住民、企業、行政
が三位一体となって10月31日（日）午前
10時～午後4時にエコまつりを開催し
ます。

祭りでは、工場見学や環境について
の展示、食べ物ブース、ステージ、産直
野菜市、フリーマーケット、エコゲーム大
会などを予定。工学博士・北野大さん
の講演もあります。

現在、祭りを成功させようと地域
住民や学生、環境市民団体、環境省、
企業、学校、広島市などからなる実行
委員会が、毎晩のように吉島公民館
に集まっては計画を練っています。どう
やってお客さんを環境ブースに集める

か、雨天時の対応、会場のレイアウト
などについて、さまざまな場面を想定
して話し合っています。

エコまつりでの一番の特色は「限りな
く（み）0（ゼロ）」にすることを目標
に、無駄を出さないこと。食べ物の容
器やはしなどは家から持参してもら
い、その代価としてエコマネー（地域通
貨）を支払います。エコマネーは金券と
して祭りで使えます。

また「広島湾花火を見よう！」「夏
の天体観望会」「中工場見学と会場
清掃」など多くのプレイイベントを開
催し、参加者にはエコマネーを配って
います。

実行委員会の皆
さんは「エコまつりの
成功が最終目標で
はなく、このお祭り
がきっかけでゴミや
環境、地球の未来に
ついて考えてもらえ
るようになれば」と
祭りに向けて励んで
います。



8月13日（金）に行われたプレイイベント「夏の天体観望会」

これからのプレイイベント

**吉島半島クリーンウォーク
「町をきれいにしよう」**
日時…10月24日（日）午前9時～
集会場所…中工場
対象…一般
内容…エコまつりに備えて、吉島半
島を清掃



「エコまつり 環ッハッハ in よしじま」を
成功させるために話し合う実行委員の皆さん

吉島チャレンジクラブ 土の子



学校週5日制へ
の対応を目的に、学
校で行われる授業
とは異なった学習
を6年前から行っ
ています。当初は自然
活動などを重点に
企画していましたが、
子どもたちから
外国人と慣れ親し
むことが必要と、今
年のテーマを「めざ
せ国際人！」に設
定しました。毎月
第3土曜日に、中学
生から大学生まで
のボランティアが主
体となって外国人
を講師に招き、料
理やゲーム、ダンス
など、講師の得意分
野で子どもたちと
交流しています。6
月にはオリンピックにちなんでギリシ
ヤ、7月はカナダ、9月は研修のため来
日した南アフリカの教育省職員10人
を招きました。10月はハロウィンパ
ーティーを予定しています。

なかよし子ども チャレンジクラブ

吉島は本川と元安川に挟まれ、海
にも近いことから昔は魚介類の宝庫
であり、子どもたちの格好の遊び場で
した。その川を以前のような姿に取
り戻したいと、3年前から土曜日を中
心に、中島、吉島東、吉島小学校の子
どもたちが「太田川」をテーマに調査
をしています。指導は、ボランティアで
結成された「太田川ひがた守り隊」な
ど。今年の3月、研究の集大成ともい
える「干がた探検マップ」を作りまし
た。マップには干がたの位置や観察で
きる生き物、遊ぶコッなどを紹介。吉
島公民館で配付しています。

これからのチャレンジクラブの目標
は、貝を放流観察して、誰もが気軽に
潮干狩りを楽しめる環境を作ること
です。



干がた探検マップ



干がたに生息する
生物を調べる子どもたち

行事予定

■吉島子育てオープンスペース フリーフリー

日時…10月11日（月）
午前10時半～午後1時半
場所…吉島公民館
対象…3歳までの乳幼児と保護者
内容…買い物の帰り、散歩の途中など、い
つでも出入り自由のオープンスペ
ース。お弁当持参も大歓迎

■元宇品島観察会

日時…10月11日（月）正午～午後4時
集合場所…広島プリンスホテル
対象…小学生～高校生
内容…元宇品島の海藻を観察

■保育講演会

日時…10月15日（金）午前10時15分～11時半
場所…吉島体育館
対象…一般
内容…「今、家族で考えることは」をテー
マに中央署少年育成官・堀靖子
さんが講演



吉島公民館
広島市中区吉島西3-2-10
TEL (082) 246-4121
FAX (082) 246-4127
E-mail yoshijima-k
@hitomachi.city.hiroshima.jp



原爆ドーム前で再会した七夕電車



路面電車まつりの会場風景



模型の周りに集まる子どもたち

「P」と企業の協働事業にふさわしい、などが理由です。現在の構成は、路面電車を考える会、鉄道友の会、日本路面電車同好会、文教女子大お姉さんの会、広電の5団体。今年の第9回実行委員長は、「路面電車を考える会」代表世話人の二文字勝美さんで、約100人のボランティアも運営に参加しました。

今年6月6日、9回目のまつりが広電本社に隣接する千田車庫で、盛大に開催されました。梅雨の季節ですが、早朝の大雨が嘘のように晴れ上がり、1万3千人の人流で賑わいました。

電車部品などの販売やミニ電車運行、鉄道模型運転・展示、シミュレーターによる運転体験、車庫見学・スタンブラリー、電車写生大会などの終日メニューから、時間を決めて宇品港間を

「七」にこだわった電車が走り始めたのは、平成2年（1990年）7月7日。それから毎年、ちびっ子が乗り込むこの特別電車は、今では広島の立派な風物詩になっています。

街を明るく彩るクリスマス電車

平成3年（1991年）12月24日、リースやみみの木の形の電飾が点滅する、ハノバー電車が不景気風の吹く街を走りました。サンタクロースに扮した運転手が運転し、若手社員の聖歌隊がクリスマスソングを歌い、電停ごとにプレゼントも配る、楽しい電車です。

ドイツ・ハノバー市から来たこのクリスマス電車は、今では23日から25日まで3日間走るようになり、行き交



街の風物詩づくりの仕掛人・初代の平町孝典さん（右）と、後任の大田和広さん

仕掛け人は遊び心たつぷりの係長

これらの楽しい企画を次々に実現したのは、遊び心たつぷりの平町孝典さん（当時電車部営業課係長、現秘書チームリーダー）。街の風物詩を作るよう指示された同氏は、「そのころは電車を用いたイベントはなく、乗った園児たちが非常に喜んでくれました。その子たちももう二十歳になるんですよ」と、嬉しそうに語ってくれました。



街中を明るくするクリスマス電車

往復する貸切クイズ電車まで、盛りだくさんでした。

幼稚園児が大喜びの七夕電車

今年七夕の日の昼下がり、千田車庫からたちばな幼稚園の年長組約70人を乗せた「おりひめ号」（707号）と、観音町電停から広島暁の星幼稚園の年長組70人を乗せた「ひこぼし号」（705号）は、それぞれ午後1時20分に発進し、15分後に原爆ドーム前電停で再会しました。園児たちは、飾り付けをした電車の中で七夕の歌を大きな声で歌い、笹につけた自分の短冊を持つて降りて、原爆ドーム前の護岸から元安川に流しました。

レポートの“P”は、Philanthropy（フィランソロピー・企業などが地域活動に参加すること）、Peace（ピース・広島のアイデンティティーとしての平和）、Public（パブリック・公共に開かれている）などの“P”をイメージしています。

ひろしまの会社のおもしろPレポート

路面電車で地域を元気にする 広島電鉄株式会社

広島は路面電車の街

路面電車は、現在18都道府県で19社が走らせていて、中国地方は広島市・岡山市・四国は松山市・高知市・九州は長崎市・熊本市・鹿児島市と、関西以西ではわずか7市。

広島でいわゆる“チンチン電車”が走り始めたのは、大正元年（1912年）11月23日、はるか92年前のことです。近年、広島は路面電車は「動く電車の博物館」といわれるほど新旧の電車が走り、全国からも多くのファンが押しかけ、年間乗車人口4千万人は日本一を誇っています（宮島線1千8百万人は外数）。

環境にやさしく、お年寄りや子どもたちにも好かれる路面電車。広島は民間企業が公共輸送を担う都市ですが、中でも広島電鉄は、本業の電車を活用した街の活性化に積極的に取り組んでいます。

6月10日って何の日？

有名なのは「時の記念日」ですが、「路面電車の日」ということを知っていましたか？

平成7年（1995年）6月、広島市

で開催された第2回路面電車サミットで、広島電鉄と広島市の市民グループ「路面電車を考える会」が、6月10日を「路面電車の日」にすることを共同提案したのです。それまでバスや自家用車に押されつつあった

路面電車の、復権宣言です。翌8年から、毎年6月10日の前の週末、路面電車が走る全国の都市で「路面電車まつり」が開かれるようになりました。6（路）10（電）とちよつと苦しい語呂合わせですが、乗り物好きの子どもたちや家族連れが大勢押しかける、賑わいイベントがスタートしたのです。

大盛況の路面電車まつり

平成13年（2001年）の第6回までは、広島電鉄と路面電車を考える会の共催でしたが、7回目から実行委員会形式に変更されました。規模も大きくなり来場者も増えた、市民グル



貸切クイズ電車出発！
車内は子ども達の歓声で大にぎわい

Information

広島電鉄株式会社
所在地 広島市中区東千田町2-9-29
Tel 082-242-3521
代表者 大田哲哉氏
（代表取締役社長）
資本金 9億円
従業員数 1,380人
設立 昭和17年（1942年）4月